

“患者ファーストの医療で **選ばれる** 医院になる”

最新統合医療の臨床を学ぶ

プログラム詳細

開会の挨拶 10:00 ~ 10:05

Lecture 1

10:05 ~ 11:05

日本におけるカンナビノイド医療の発展

2018年6月、臨床CBDオイル研究会が発足した。日本におけるカンナビノイドの臨床利用と普及を目指し、医師・歯科医師・獣医師に向けて高品質のブロードスペクトラム CBD オイルの提供と臨床ケースのシェアを行い、ドクター会員は約2年間で300名超に成長した。患者にとって効果のある治療法を真摯に模索する医師が会員には多い。栄養療法や興奮毒素などからめ、カンナビノイドの臨床的価値について述べてみたい。

Lecture 2

11:20 ~ 12:20

幹細胞培養上清療法を始めましょう

ヒト幹細胞を培養した上清液には、エクソソーム、成長因子、サイトカインが豊富に含まれています。細胞成分を完全に取り除き、上清液を投与するのが幹細胞培養上清療法です。上清液中の様々な因子が、老化や損傷などで機能が低下した箇所を修復することで、組織の機能回復を期待する治療法です。培養上清療法の基礎から具体的な投与方法、自験例を含め解説します。

Lecture 3

13:15 ~ 14:15

メチレーションと臨床

メチレーションはエネルギー産生やメンタル、解毒にも関係し、理解するには難解で時間がかかりますが、概要でも理解することで、代謝全体や関連するその他の代謝も見えてきます。代謝栄養療法の基本といっても過言ではないメチレーションの理解とその臨床応用を代謝経路図とともに解説します。

Lecture 4

14:15 ~ 15:15

ウルトラファインバブル水を活用した腸内フローラ移植 ~IBS からアトピー性皮膚炎まで~

腸内細菌の dysbiosis は消化器疾患のみならず全身の疾患の原因となる。Dysbiosis を是正する方法の一つとして糞便微生物移植 (FMT) が考案されているが、従来の方法では Clostridium Difficile 感染症以外では現時点では効果は限定的と考えられる。UB-FMT はウルトラファインバブル水を活用した FMT であるが生理食塩水に比べ効率的にドナーの細菌を大腸内粘液層に到達させる可能性があり、消化器疾患以外にもアレルギー疾患や精神疾患などの治療法としても注目されている。

Lecture 5

15:30 ~ 16:30

ホルモン治療の実践

総合ホルモン検査と治療

老化の結果、ホルモン低下がおこるのではなく、ホルモン低下が老化の始まりの可能性がある。そこで各人の実年齢の標準ホルモン量と実際のご本人のホルモン量を比較して、仮に標準量よりも大きく低下していれば、細胞再生能力、細胞賦活力の低下を意味しているので、ホルモン補充の適応となる。成長ホルモン、DHEA ホルモン、コルチゾール、甲状腺ホルモン、性ホルモンなどを総合的に測定評価し、理想値に近づけていく総合ホルモン検査と治療を症例を交えて紹介する。

閉会の挨拶 16:30 ~ 16:35

※状況により、多少の時間変更がございます。ご了承ください。